

スターキー TVストリーマー 取扱説明書



Edge TVストリーマー

StarLink TVストリーマー

スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

© 2023 Starkey Japan. All Rights Reserved. BKLT0082-02-JJ-JP JPYBK-082
2025年3月作成



目 次

はじめに	2
各部の名称と機能	4
使用方法	8
音源との接続	12
補聴器とのペアリング	13
ストリーミングの開始／停止	17
トラブルシューティング	18
安全性情報	20
認証情報	22

はじめに

TVストリーマーは、オーディオ信号を2.4GHzワイヤレス補聴器へ直接ストリーミングするように設計されています。本製品は、テレビ、DVDプレーヤー、CATVチューナーなど、ほとんどのAV機器と接続ができます。同時に音声をストリーミングできる補聴器の台数に制限はありませんので、映像や音声を複数の人と楽しみ、同じ感動を分かち合うことができるようになります。

ストリーミングとは？：

音声や音楽サウンドを本製品から補聴器へ直接的に無線で伝送することです。

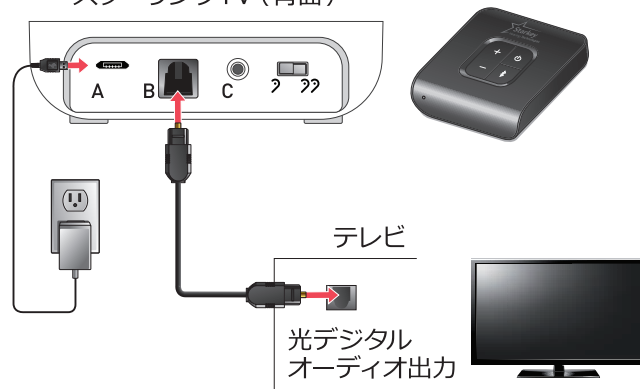
内容物一覧

- StarLink TVストリーマー（以下「スターリンクTV」）
または Edge TVストリーマー（以下「エッジTV」）
 - ACアダプター
 - 光デジタルケーブル（トスリンク）
 - 3.5mm/RCAケーブル
 - 取扱説明書
- オーディオケーブル 2種類

セットアップ

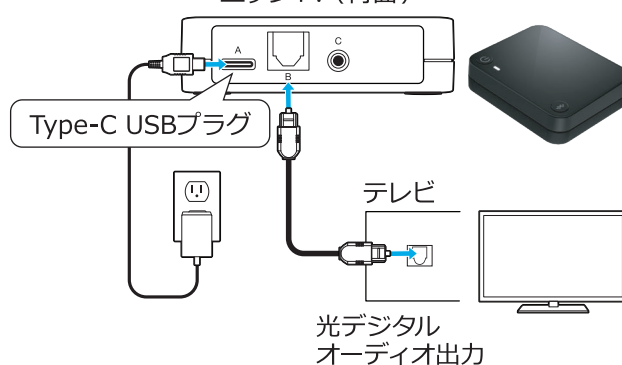
【スターリンクTVの場合】

スターリンクTV（背面）



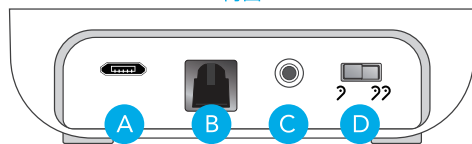
【エッジTVの場合】

エッジTV（背面）



スターリンクTV 各部の名称と機能

背面



- A. **電源ジャック**：ACアダプターの差し込み口です。
- B. **トスリンクジャック**：光デジタルケーブルの差し込み口です。
- C. **アナログジャック**：3.5mm/RCAケーブルの差し込み口です。
- D. **モノラル/ステレオスイッチ**：
 -  (モノラル) – 片耳のみ補聴器を装着されている場合に選択
 -  (ステレオ) – 両耳に補聴器を装着されている場合に選択



：電源ボタン

：Bluetooth (補聴器とペアリング)

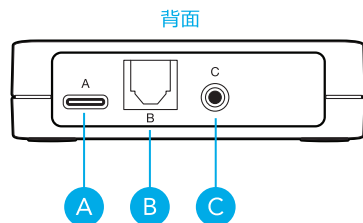
+ / -：音量アップ/ダウンボタン。ストリーミングの音量を上げるときは「+」ボタンを押し、音量を下げるときは「-」ボタンを押します。

ご注意:ストリーミングの音量はMy Starkey (マイスターキー) またはThrive (スライブ) アプリ、StarLinkリモコン、補聴器本体の操作ボタン/スイッチからも調節できます。具体的な製品の設定に関して、詳しくは、お使いの補聴器の取扱説明書をご覧ください、または補聴器販売店にお尋ねください。

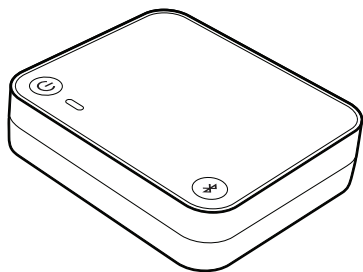
表示ランプ：本製品の状態についての情報を表示します。

表示ランプ	現在の状態
点灯なし	電源が入っていません
緑 ランプが点灯	電源は入っているが、ストリーミングはされていません
青 ランプが点灯	電源が入り、音声はストリーミングされています
青 ランプが点滅	補聴器のペアリングを実行中 詳細は、13-15ページの ペアリング を参照
赤 ランプが点灯	エラー状態の可能性がありますが

エッジTV 各部の名称と機能



- A. 電源ジャック** : ACアダプターの差し込み口です。
- B. トスリンクジャック** : 光デジタルケーブルの差し込み口です。
- C. アナログジャック** : 3.5mm/RCAケーブルの差し込み口です。



⏻ : 電源ボタン

📶 : Bluetooth (補聴器とペアリング)

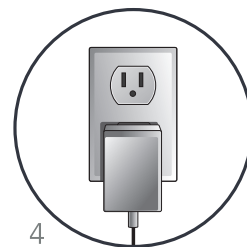
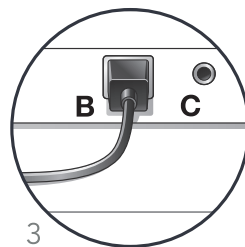
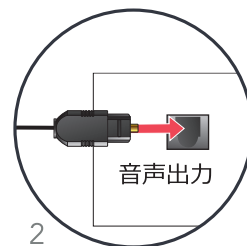
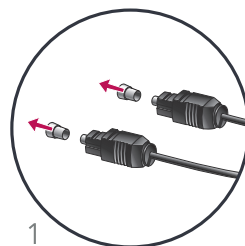
— : 表示ランプ (本製品の状態についての情報を表示します)

表示ランプ	現在の状態
白ランプが点滅	電源が入っています
白ランプが点灯	電源は入っているが、ストリーミングはされていません
緑ランプが点滅・点灯	補聴器のペアリングを実行・成功 詳細は13-15ページのペアリングを参照
緑から赤ランプに点滅	ペアリングの失敗 詳細は13-15ページのペアリングを参照
青ランプが点灯	電源が入り、音声が入力がストリーミングされています
赤ランプが点灯 (2秒間)	電源が落ちます
点灯なし	電源が入っていません

使用方法

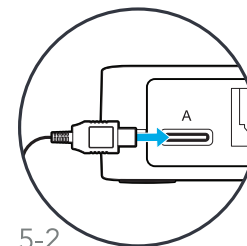
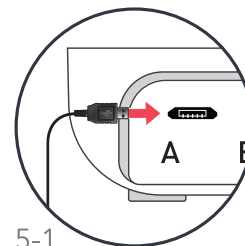
一般的なセットアップによる、本製品の簡単な使用法は以下の通りです。

1. 光デジタルケーブルの両端に付いているプラスチック製キャップを取り外します。
2. AV機器の音声出力ジャックに光デジタルケーブルを差し込み、電源を入れます。
 - **注:** 専用の音声出力ジャックが無く、光デジタルケーブルを差し込むことができない場合は、AV機器を変更するか、3.5mm/RCAケーブルの使用をご検討ください。
3. 光デジタルケーブルのもう一方のプラグを本製品背面（図Bのジャック）に差し込みます
4. ACアダプターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 5-1. スターリンクTVの場合：ACアダプターのマイクロUSBプラグを本製品背面（4ページ 図Aのジャック）に差し込みます。
- 5-2. エッジTVの場合：ACアダプターのType-C USBプラグを本製品背面（6ページ 図Aのジャック）に差し込みます。
6. 本製品の電源ボタンを押し、電源を入れます。
エッジTVの電源ON/OFFについて
ACアダプターのプラグをコンセントに差し込むと、表示ランプが4秒間、白色に点滅し、そのあと白色に点灯します。
 - 電源ONにする場合：電源ボタンを押し、表示ランプが白色に点灯したらボタンを離します。
 - 電源をOFFにする場合：電源ボタンを押し、表示ランプが2秒間赤色に点灯したら、電源が切れます。



スターリンクTVの場合

エッジTVの場合



7. 前面にある表示ランプが青色に点灯したら、本製品は音声を検知し、ストリーミングが開始されています。

ご注意 :表示ランプがスターリンクTVであれば緑色に、エッジTVであれば白色に点灯したままセットアップを見直すか、トラブルシューティングのページをご確認ください。

8. 補聴器の電源が入っていることを確認します。

- **注** :ストリーミングを初めて行う前に、本製品と補聴器がペアリングされている必要があります。詳しくは、13-15ページの**補聴器とのペアリング**をご参照ください。

9. ストリーミングを開始します。

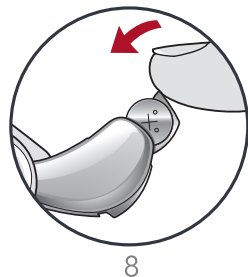
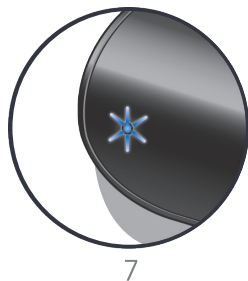
- My StarkeyまたはThriveアプリを開き、アクセサリーから**TV**を選択してストリーミングを開始します。
- 詳しくは、17ページの**ストリーミングの開始/停止**をご参照ください。

10. スターリンクTVをお使いの場合は、本製品の+ボタン/ーボタンを押して、ストリーミング音量を調節します。

11. ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを行います。

- My StarkeyまたはThriveアプリを開き、アクセサリーから**TV**を選択してストリーミングを停止します。
- 本製品の**電源マーク**を押します
- 詳しくは、17ページの**ストリーミングの開始/停止**をご参照ください。

スターリンクTVの場合

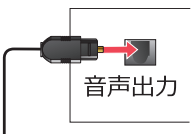
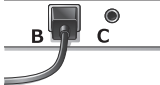
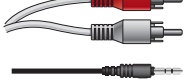
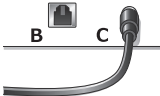


エッジTVの場合



音源との接続

本製品の音源接続は、接続するAV機器によって異なる場合があります。AV機器の音声出力ジャック（差し込み口）をよくお確かめの上、付属されているケーブル等で接続するようにしてください。またお使いのTVの音声設定が必要になる場合があります。TV側の音声出力の選択方法はTVの取扱説明書をご確認ください。

	AV機器の音声出力 ジャックにケーブル 端子を差し込む	本製品の背面に もう一方の ケーブル端子を 差し込む
光デジタル (トスリンク) 	 音声出力	図Bの ジャックを使用 
アナログ RCA (3.5mm) 	 音声出力 注：赤色の接続端子は赤色のジャック、白色の接続端子は白色のジャックへ差し込むようにしてください	図Cの ジャックを使用 

ご注意：機器を初めてセットアップする時に、オーディオケーブルが本製品に適切に接続され、ストリーミングが正常に開始されると、**青い**表示ランプが点灯します。

補聴器とのペアリング

本製品を補聴器と通信させるためには、まず最初に各補聴器と本製品をペアリングさせる必要があります。ペアリングの実行は初回のみ、その後は、ワイヤレス通話の範囲内で電源が入っていれば、自動的にお互いを認識するようになります。*

本製品と補聴器のペアリングは以下の通り行います：

1. 補聴器がお近くのBluetooth機器に接続されていないことを確認します。そのためには、
 - スマートフォンのBluetooth接続を切ります。
 - 別のTVストリーマーやリモートマイク+など、すでに補聴器とペアリングしている機器がある場合、それらの電源を切っておきます。
2. 補聴器の電源を一旦切って、電源を入れ直します。
 - **注：**CROS補聴システムでは、補聴器とCROS送信機の両方の電源を切ります。そして、補聴器だけ電源を入れ、CROS送信機の電源は切れたままにしておきます。
3. 補聴器を本製品の半径15cm以内に置きます。
エッジTVの場合、補聴器は本製品の上には置かないようにしてください。

* 通常の通信範囲は、見通し15m以内です。障害物、電波干渉、身体的位置関係などの環境的な理由により、通信範囲が減少することがあります。通信可能な距離の拡大は可能ですが、音質や接続性が損なわれる恐れがあります。

4. 本製品の  ボタンを押します。前方の表示ランプがスターリンクTVであれば青色に、エッジTVであれば緑色に点滅し始めます。ストリーミングが一時的に停止されます。

5-1. スターリンクTV：補聴器を両側に装用

補聴器 ①	補聴器 ②	ペアリング状態	次のステップ
 1 回点灯	 1 回点灯	両方の補聴器 ペアリング完了	必要なし
 1 回点灯	 2	片方の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1-5 を繰り返す
 1	点滅 してない	ペアリング されていません	やり直し 1-5 を繰り返す

5-2. エッジTV：補聴器を両側に装用

補聴器 ①	補聴器 ②	ペアリング状態	次のステップ
 1 回点灯し または点滅	 1 回点灯	両方の補聴器 ペアリング完了	必要なし
 1 回点灯	 1 回点灯	片方の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1-5 を繰り返す
 1 回点灯	 1 回点灯	ペアリング されていません	やり直し 1-5 を繰り返す

6-1. スターリンクTV：補聴器を左右どちらかに装用

表示ランプの 点滅	ペアリング状態	次のステップ
 1	ペアリング完了	必要なし
 1	ペアリング されていません	やり直し 1-4,6 を繰り返す

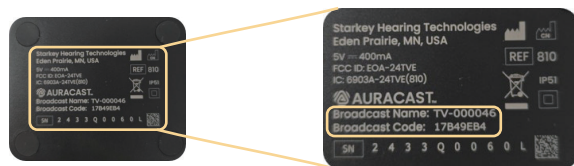
6-2. エッジTV：補聴器を左右どちらかに装用

表示ランプの 点滅	ペアリング状態	次のステップ
 1 回点灯	ペアリング完了	必要なし
 2 回点灯	ペアリング されていません	やり直し 1-4,6 を繰り返す

Bluetooth Low Energy (LE) オーディオ対応補聴器からエッジTVに接続する方法

1. 本紙の6-7ページの通り、エッジTVの電源を入れます。
2. お使いのBluetooth LEオーディオ対応機器（スマートフォン、パソコンなど）でAuracast™ アシスタント画面に移動します。
3. 利用可能な放送一覧の中から「エッジTV」を選択します。エッジTV本体の裏面に記載されている①放送名称（例：TV-XXXXXX）を選んでください。
4. アクセス許可を確認する認証画面が表示されたら、エッジTV本体の裏面に記載されている②ブロードキャストコードを入力して、エッジTVと接続します。

エッジTV 本体の裏面



- ① Broadcast Name: 放送名称
- ② Broadcast Code: ブロードキャストコード

ストリーミングの開始／停止

本製品から音声や音楽のストリーミングを開始（または停止）するには、以下の方法があります：

• My StarkeyまたはThriveアプリ：

スマートフォンやタブレットからアプリを開きます。アクセサリ画面からストリーミングの開始／停止を選択します。

• StarLinkリモコン：

補聴器販売店のPCで事前に設定した「お気に入り」ボタンを押します。



• 補聴器本体のボタン／ダブルタップ：

補聴器販売店の事前に設定した操作（例えば、ボタンの長押しやダブルタップなど）からストリーミングを開始／停止できます。

以下の場合、ストリーミングは停止されます。

- 音声信号の入力が検知されない場合
- 本製品の電源が入っていない場合

ストリーミングの開始／停止の際、補聴器からお知らせ音が再生されます。

トラブルシューティング

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器からストリーミングが突然されなくなった	ワイヤレス通信の範囲ギリギリで操作されている	なるべく障害物を避け、TVストリーマーに もっと近づいてみましょう
	補聴器の電池残量が低下して、ストリーミングができない	新しい電池と交換しましょう
	TVストリーマーの配置が良くない	TVストリーマーの角度など、空間的な配置を調整してみましょう
	家具や壁などの大きめの障害物が信号を妨げているかもしれない	TVストリーマーと補聴器の間に何も遮るものがないようにしましょう
表示ランプが青色に点灯するのに、補聴器へ音声 がストリーミングされない	補聴器がワイヤレス通信範囲外にある	TVストリーマーに もっと近づいてみましょう
	補聴器から聞くためにはストリーミングを手動で開始させる必要がある	Thriveアプリ、Thriveリモコン、または補聴器本体の操作ボタン/スイッチから手動でストリーミングを開始します
	補聴器がTVストリーマーとペアリングできない	補聴器とTVストリーマーを連動させるには、 ペアリング のページを参照してください

症状/問題	考えられる原因	解決策
音声をストリーミングで聞きたいのに、表示ランプが緑色のままである	オーディオケーブルがAV機器の「音声入力」に接続されている	AV機器の「音声出力」ジャックにケーブルが差し込まれていることを確認しましょう
	音声信号が入力されていない	AV機器の電源が入っていることを確認しましょう
	エッジTVの場合：表示ランプが白色	AV機器のデジタル音声出力をPCM形式、またはドルビー音声に設定してください
赤い表示ランプが点灯している	エラー状態の可能性	ACアダプターをTVストリーマーから取り外し、5秒ほど経ってからACアダプターをジャックに差し込んでみてください
音声がテレビの映像と同じ速度でストリーミングされない	新しいテレビの多く（例えば、HDTV:高精細度テレビジョン放送など）は映像（ビデオ）シグナルの処理に時間が掛かるため、同時速度の音声にズレが生じてしまうことがあります	• テレビにある別の音声出力ジャック（種類の違うケーブルが必要になるかもしれません）を使用することを検討してください • 別のAV機器のご使用を検討してください 例えば、外付けのケーブルテレビチューナーをご使用ならば、テレビ本体から音声を出力してみましょう • AV機器（例えば、テレビ本体やAV受信機）の中には、オーディオと映像の時間的な配列を調整するためのオプションが搭載されているかもしれません AV機器の設定をご確認ください

安全性情報

使用目的

本製品は、気導式2.4GHzワイヤレス補聴器の付属アクセサリーです。テレビまたは別のAV機器からお使いの気導補聴器へ、ワイヤレスで音を伝送することを目的にしています。

本製品は、国際的なEMC（電磁両立性）試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品は、中性洗剤を湿らせた布で、綺麗に拭き取ることができるように設計されています。

本製品が除細動器やペースメーカーといった植込み型医療機器を干渉すると懸念される場合は、医師または医療機器メーカーにご相談ください。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 動作時: 0~+40℃ (32~104°F)
- 保存場所: -40~+60℃ (-40~140°F) 湿度 < 95%

警告: 本製品を他の電子機器の近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告: 本製品に製造元以外の部品を使用すると、製品の性能の低下につながる可能性があります。

警告: 本製品から30cm以内の距離でワイヤレス通信機器を使用している場合、補聴器と本製品のペアリングの性能が低下することがあります。このような場合は、ワイヤレス通信機器を本製品から遠ざけてください。

警告: 付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

本製品は防塵・防水に対して、正式に国際等級(IP)は取得していませんが、IEC60529で規定されたIP5Xレベルの試験は実施されています。これは、本製品が、塵や埃に保護されている、IP5Xの同等製品であることを意味しています。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改造することはできませんので、ご注意ください。

本製品を、取扱説明書に記載されていない機器と接続することはお止めください。

本製品の耐用年数は5年間です。

Wireless Technical Description

Starkey Hearing Technologies TV operates in the 2.4-2.4835 GHz band with a maximum effective radiated power of 21 dBm (North America), 10 dBm (rest of world) with transmission modulation type of GFSK and 2 MHz bandwidth. The receiver section of the radio has a bandwidth of 2 MHz.

The TV device has been tested to, and has passed, the following emissions and immunity tests:

- IEC 60601-1-2 radiated and conducted emissions requirements for a Group 1 Class B device as stated in CISPR 11.
- Harmonic distortion and voltage fluctuations affecting the power input source as stated in Table 2 of IEC 60601-1-2.
- RF radiated immunity at a field level of 10 V/m between 80 MHz and 2.7 GHz as well as higher field levels from communications devices as stated in Table 9 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to power frequency magnetic fields at a field level of 30 A/m.
- Immunity to ESD levels of +/- 8 kV conducted discharge and +/- 15 kV air discharge.
- Immunity to electrical fast transients on the power input at a level of +/- 2 kV at a 100 Hz repetition rate.
- Immunity to surges on the power input of +/- 1 kV line to line.
- Immunity to conducted disturbances induced by RF fields on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to voltage dips and interruptions on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.

認証情報

Starkey Hearing Technologies

6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA



FCD ID: EOA-24TV

IC:6903A-24TV (Models 800 and 801)



Starkey Laboratories (Germany) G.m.b.H
Weg beim Jäger 218-222
22335 Hamburg
Germany



This TV device produces radio frequency energy. Interference may occur in the vicinity of equipment marked with the following symbol.



Class II device



Dispose of properly



Consult operations manual



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.



Symbol	Symbol Meaning	Applicable Standard	Symbol Number
	Manufacturer	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.1
	Authorized representative in the European Community	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.2
	Date of Manufacture	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.3
	Catalogue Number	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.6
	Serial Number	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.7
	Medical Device	BS EN ISO 15223-1:2021	5.7.7
	Keep Dry	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.4
	Temperature Limit	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.7
	Humidity Limitation	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.8
	Caution	BS EN ISO 15223-1:2021	5.4.4
	General warning sign	EC 60601-1, Reference no. Table D.2, Safety sign 2	ISO 7010-W001
	Refer to instruction manual/booklet	EC 60601-1, Reference no. Table D.2, Safety sign 10	ISO 7010-M002
	Collect Separately	DIRECTIVE 2012/19/EU (WEEE)	Annex IX
	Class II equipment	IEC 60417 Reference no. Table D.1	Symbol 9 (IEC 60417- 5172)
	Regulatory Compliance Mark (RCM)	AS/NZS 4417.1:2012	N/A
	Giteki Mark	Japanese Radio Law	N/A
	Direct current	IEC 60601-1 Reference no. Table D.1	IEC 60417-5031
	Recycling Symbol	European Parliament and Council Directive 94/62/EC	Annex I-VII

Notes

[illegible]

Notes

[illegible]